

アウトプット指標（活動指標）

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI

KPI①	保護者に対するシステム導入（アプリ導入）率	種別	アウトプット	単位	%
KPIの概要、測定方法	導入したシステムに関しより多くの保護者が活用するよう、市と保育施設等が連携して導入を促進することとし、その導入率を計測する。				
事業成果等の計測に適する理由	<p>保育所等に子どもを預ける保護者の多くは、その世代からして当該システムを利用するためのアプリが導入できる電子デバイスを所有していることが想定されることから、まずはアプリをインストールしてもらい、使用を促すこととし、その導入率を計測する。</p> <p>対象となる児童約340人ごとにアカウントが作成されることから、児童名でのアカウント登録状況を確認することで容易に計測可能。</p> <p>保護者の利用率向上は、保育業務全般にわたる業務改善に繋がることから、利用率の計測は事業成果の計測に適している。</p>				
	2025年度末【目標】		2026年度末【目標】		2027年度末【目標】
	70		80		90
	2025年度末【実績】		2026年度末【実績】		2027年度末【実績】
	99.4				

KPI②	保護者からの各種連絡のうち、システム経由で完結した件数の割合	種別	アウトプット	単位	%
KPIの概要、測定方法	保護者から保育所等への欠席、遅刻、子どもの健康状態に係る留意事項などの連絡のうち、保育ICTシステムを利用することで完結した割合を計測する。				
事業成果等の計測に適する理由	<p>現状、保護者から園に欠席等の電話連絡をするためには、同時刻に集中する話し中などのため30分程度かかっており、朝の忙しい時間の負担となっている。また保育士側も複数の保護者から同時刻に電話が集中するため、園児受入れの多忙時間帯の負担となっている。</p> <p>保育ICTシステム経由で保護者から保育所等への連絡が完結することは、導入したシステムが有効に活用されていることを意味し、同時に保護者と保育士双方の負担軽減に繋がっていると判断できることから、事業成果の計測に適している。</p> <p>上記KPI①でアプリを導入した方のうち、85%がシステム経由で連絡完結すると想定した。</p>				
	2025年度末【目標】		2026年度末【目標】		2027年度末【目標】
	59.5		68		76.5
	2025年度末【実績】		2026年度末【実績】		2027年度末【実績】
	96.9				

アウトカム指標（成果指標）

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI

KPI①	保護者向け満足度調査結果	種別	アウトカム	単位	点
KPIの概要、測定方法	導入したシステムに関し、実際に利用した保護者へのアンケート調査（5段階評価）を実施し、システムの満足度を計測する。				
事業成果等の計測に適する理由	導入したシステムの利用のしやすさ、導入前と比較した利便性などの満足度について、実際にシステムを利用する保護者を対象とした5段階評価（2点刻み10点満点）のアンケート調査を実施し、満足度を確認することでシステム導入の妥当性が確認できることから、事業成果の計測に適している。 また、アンケート画面にて、任意により要望事項・不満な点を記入してもらうことで、サービスの改善を図る。				
	2025年度末【目標】		2026年度末【目標】		2027年度末【目標】
	7.0		7.5		8.0
	2025年度末【実績】		2026年度末【実績】		2027年度末【実績】
	7.8				